

第3版(2025年)

# NICUに入院している 新生児の痛みの ケアガイドライン

2025  
3/3  
発売

一般社団法人 日本新生児看護学会

「NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン」委員会・編

[協力学会]

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会

公益社団法人 日本新生児成育医学会

公益社団法人 日本麻酔科学会

一般社団法人 日本小児外科学会

ISBN 978-4-87805-177-7 C3047

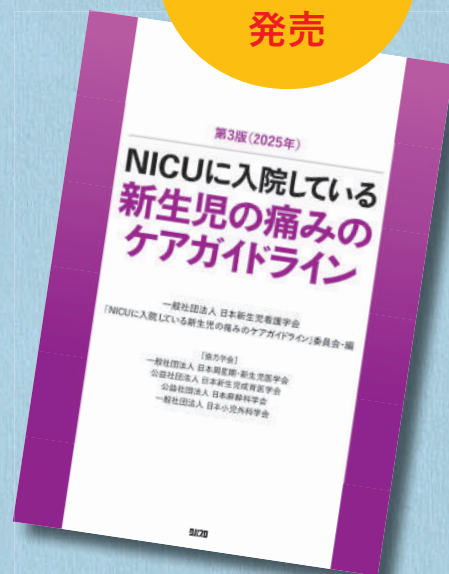
B5判 162頁・電子付録付

本体価格：3,500円+税



URL：<https://kuba.jp/members/jann/>

日本新生児看護学会の方は会員専用ページよりお申し込み下さい。特別割引価格でご購入いただけます。



約4年間の改訂期間を経て、NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン第3版が完成しました。NICUで新生児が経験するあらゆる痛みを対象とし、疼痛管理に必要な教育/学習、痛みの測定、非薬理的緩和法、薬理的緩和法に関する推奨を最新のエビデンスに基づいた実践指針として提示しました。作成プロセスには、看護師、助産師、診療看護師、小児科医、新生児科医、麻酔科医、小児外科医、理学療法士、薬剤師、チャイルドライフスペシャリスト、家族(市民)などの様々な専門家が関与し合意形成を経て推奨度や推奨文を決定しました。多くの医療者に本ガイドラインに関心を寄せてもらい、新生児の痛みの予防と管理に役立つことを願っています。

## 第Ⅲ章 実践のための推奨

## 第Ⅰ章 序章

序文

本ガイドラインについて

本ガイドラインの実践基盤

BQ・CQ・推奨文一覧

## 第Ⅱ章 背景疑問

A 痛みの影響

B 痛みを伴う疾患

C 痛みの測定ツール

D 家族の痛みのケアへの参加

A 教育・学習

B 痛みの測定と評価

C ベッドサイド処置の痛みの予防と緩和

D 人工呼吸管理中の痛みの予防と緩和

E 術後痛の予防と緩和

F 家族

G 記録

H 監査

発行：(株)クバプロ 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-15 6F

FAX：03-3238-1837 URL：<http://www.kuba.co.jp/> E-mail：[book@kuba.jp](mailto:book@kuba.jp)



# BQ 背景疑問 (Background Question)

- BQ1 痛み刺激は、新生児の短期的予後（死亡率・合併症率など）、長期的予後（精神運動発達障害、行動障害など）に影響するか？
- BQ2 痛みを伴う疾患にはどんなものがあるか？
- BQ3 新生児の痛みを測定できるのはどのツールか？
- BQ4 家族が痛みのケアに参加するとき、配慮すべきことは何か？

# CQ 臨床疑問 (Clinical Question)

- CQ1 医療者が、痛みの教育を受け学習することは、学習しない場合と比較して新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- CQ2 医療者が、施設内で定めた痛みの測定ツールを用いて新生児の痛みの測定と評価を行うことは、用いない場合と比較して、新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- CQ3 医療者が、信頼性妥当性のある多面的ツールによる痛みの測定と評価を行うことは、行わない場合と比較して、新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- CQ4 ベッドサイド処置における痛みを緩和するには、いつ痛みの測定ツールを使うとよいか？
- CQ5 人工呼吸管理中の新生児に、定期的に痛み評価すると新生児の予後改善に貢献できるか？
- CQ6 医療者が、痛みの測定ツールの研修・トレーニングを受けることは、受けない場合と比較して、新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- GPS 処置の実施や計画に際して、その必要性を常に評価し、痛みを伴う処置をできるだけ減らすことを推奨する
- CQ7 施設が定めた非薬理的緩和法の実践は、新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- CQ8 処置実施前の十分な安静時間を確保することは、確保しない場合と比較して、新生児のベッドサイド処置に伴う痛みの緩和に貢献するか？
- CQ9 全自動型ランセットは、手動型ランセット・全自動型針・手動型針と比較して、新生児の足底穿刺の痛みの緩和に貢献するか？
- CQ10 非薬理的緩和法を実施することは、実施しない場合と比較して、新生児のベッドサイド処置に伴う痛みの緩和に貢献するか？
- CQ11 処置前に口腔内に甘味液（ショ糖）投与を行うことは、新生児のベッドサイド処置に伴う痛みの緩和に貢献するか？
- CQ12 処置前に口腔内に甘味液（ブドウ糖）投与を行うことは、新生児のベッドサイド処置に伴う痛みの緩和に貢献するか？
- CQ13 薬理的緩和法の実施は、実施しない場合と比較して、新生児のベッドサイド処置に伴う痛みの緩和に貢献するか？
- CQ14 人工呼吸管理中の新生児に、薬理的な痛み緩和を行うと新生児の痛みを緩和し、予後改善に貢献できるか？
- CQ15 非薬理的緩和法を実施することは、実施しない場合と比較して、新生児の術後痛の緩和に貢献するか？
- CQ16 薬理的緩和法を実施することは、実施しない場合と比較して、新生児の術後痛の緩和に貢献するか？
- CQ17 多職種で構成された周術期管理チームによる集学的疼痛管理を行うことは、行わない場合と比較して、新生児の術後痛の緩和に貢献するか？
- CQ18 家族が痛みのケアに参加することは、参加しない場合と比較して、新生児の痛みの緩和に貢献するか？
- GPS 新生児の痛みの反応、実施した介入と効果を記録することを推奨する
- GPS 痛みのケアに関する記録を監査することを推奨する

お支払い方法： 郵便振込  銀行振込  代金引換

ご送付先氏名： 請求書名義：  
( )

住所：〒

TEL: E-mail:

お問い合わせ先

株式会社クバプロ 書籍担当

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-15 6階

FAX: 03-3238-1837

E-mail: book@kuba.jp

URL: <https://www.kuba.co.jp/>



クバプロ

検索